

## 外来種（アブラギリ）駆除の実施について

林野庁 屋久島森林管理署

## 1 現 状

屋久島島内のほぼ全域の裸地等に外来種アブラギリが急速に侵入拡大し、世界遺産地域屋久島の貴重な森林生態系への影響、スギ人工林への侵入など様々な問題が懸念されており、屋久島世界遺産地域科学委員会においても、その駆除方法についての議論がなされ、早期の駆除等対策の必要性が指摘されている。

アブラギリの駆除方法の検討は、数年前から九州森林管理局の委託調査、九州森林管理局の業務研究発表等により、一定の知見が得られてきたが、萌芽力が強い等の成育特性から、効果的な駆除方法が確立していなかった。

屋久島森林管理署では、平成26年度に民・国一体的に取り組む公益的機能維持増進協定を締結して、外来種アブラギリ駆除に本格的に取り組む委託調査、業務研究発表等の成果等を取り入れ、以下のとおり一定の駆除方針が整理できたところである。

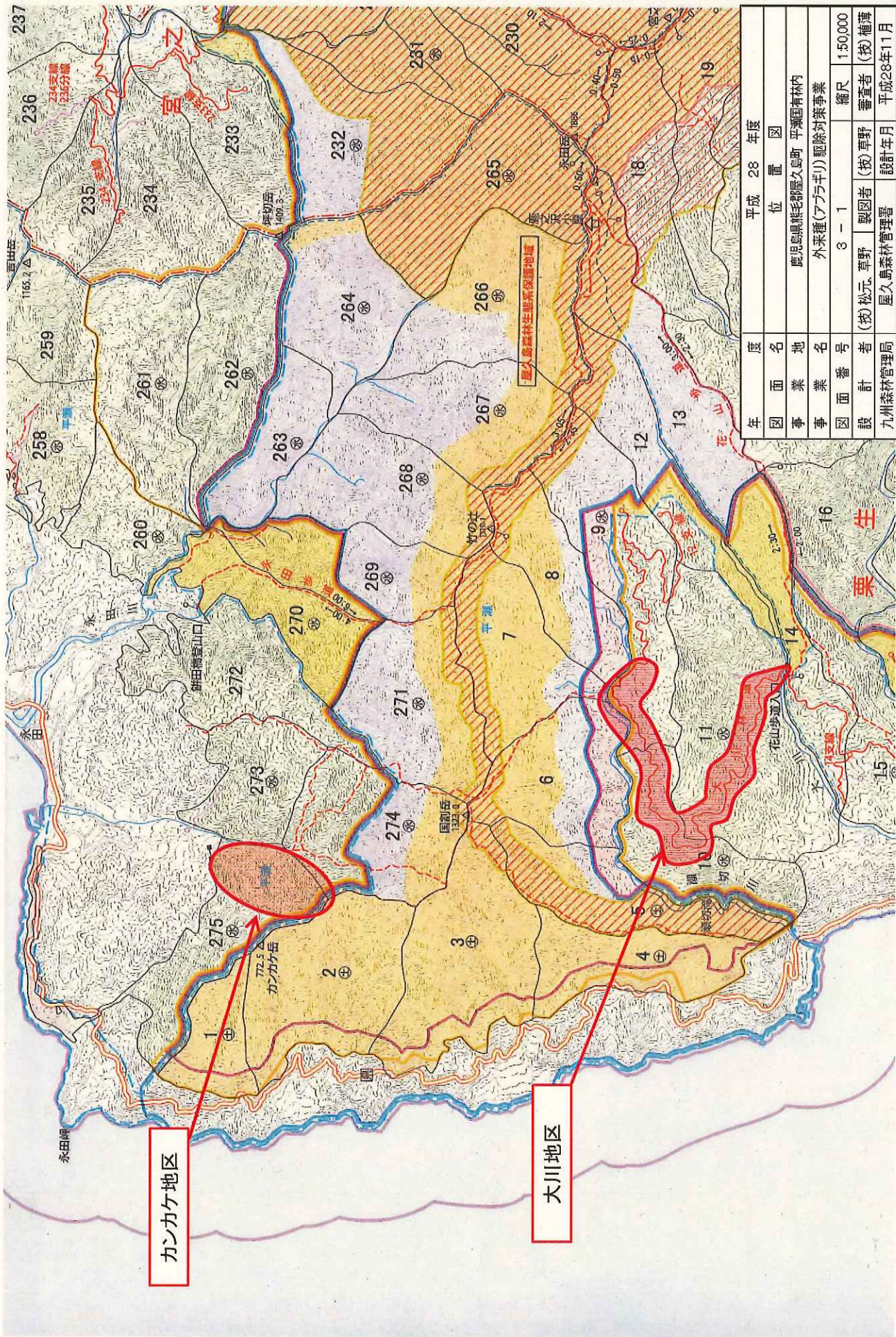
## 【駆除方針】

- ① 樹高の低い幼苗期は、早期引き抜きを実施する。
- ② 伐採は、貯蔵物質が最小となると推定される8月下旬～9月上旬頃の盛夏期実施が最も効果的である。
- ③ 若齢個体は、萌芽力が強いので頂芽発生抑制のため、開放地（裸地）では、できるだけ地際で伐採する。
- ④ 伐採後に萌芽発生した時は、養分貯蔵させないように、速やかに芽掻きするか、萌芽発生高より下部で伐採する。
- ⑤ 塩注入は、効果未確定であるが生理的ダメージによる相乗効果の可能性を考慮し、今後の駆除法選択肢としては排除しない。
- ⑥ 防草シートは、調査結果等から大きな効果はない。
- ⑦ アブラギリがあるスギ等人工林の間伐後は、アブラギリを上記基準により除去しつつ、他の在来有用樹の林床木を育成するなど、混交林化して照度管理により、アブラギリの成育を抑制する。

## 2 駆除実施

- ①事業名：外来種（アブラギリ）駆除対策請負事業
- ②事業内容：除 伐 9. 20 ha（カンカケ地区林道沿線の駆除延長 4,600m）  
除 伐 13. 33 ha（大川地区林道沿線の駆除延長 6,700m）
- ③履行場所：鹿児島県熊毛群屋久島町永田 平瀬国有林 275林班外3
- ④履行期限：契約締結日の翌日から平成29年3月15日まで
- ⑤位置図：別添のとおり





年度	平成 28 年度
図面番号	位置図
事業地	鹿児島県志布志市久良町 平瀬国有林内
事業名	外米産(アブラギリ)駆除対策事業
図面番号	3-1
設計者	(株)松元、草野、製図者 (株)草野
製図者	(株)草野
調査者	(株)植薄
設計年月	平成28年11月
九州森林管理局	屋久島森林管理署
縮尺	150,000

カンカケ地区

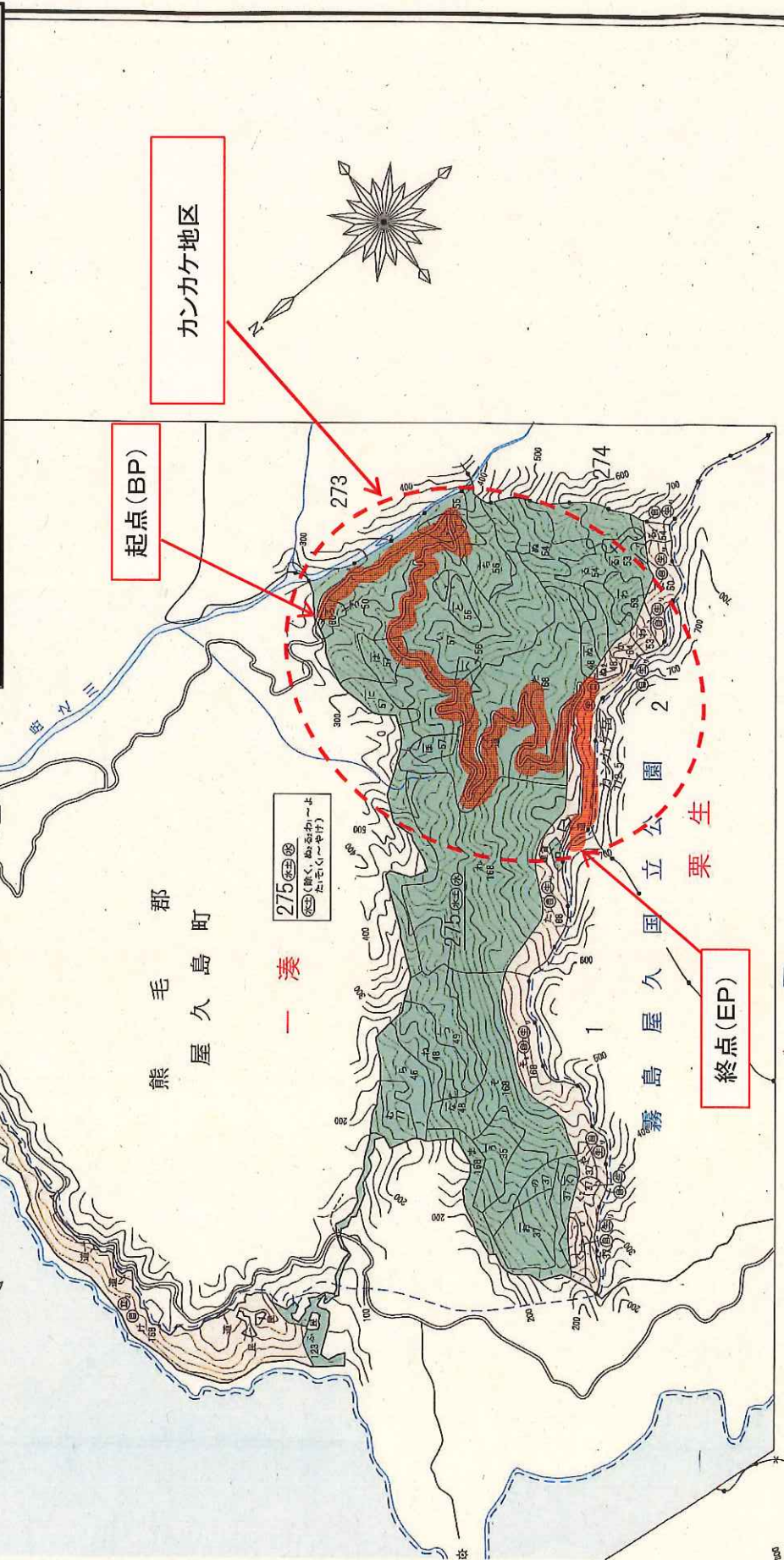
大川地区



平成28年度外来種(アブラギリ)駆除対策事業請負箇所位置図(3-2)

森林計画区		熊毛		縮尺		1:20,000	
作業種	除伐	国有林名	平瀬	林小班	275ろ外	区域面積 (ha)	9.20
計				植栽年度	-	控除面積 (ha)	-
						契約面積 (ha)	9.20

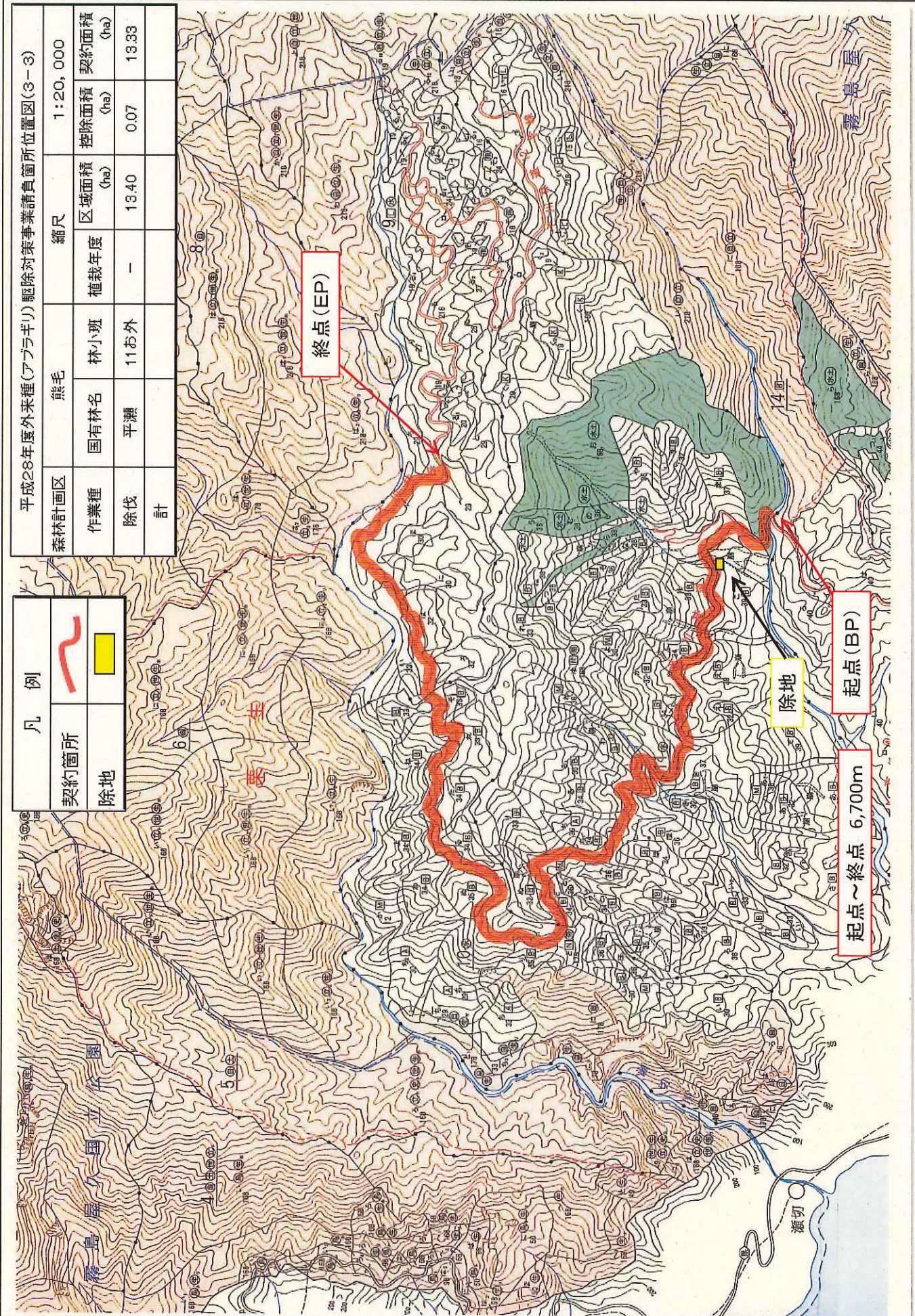
凡例	
契約箇所	
除地	





凡例	
契約箇所	
除地	

平成28年度外来種(アブラギリ)駆除対策事業請負箇所位置図(3-3)					
森林計画区	熊毛	縮尺		1:20,000	
作業種	国有林名	区域面積 (ha)	植栽年度	控除面積 (ha)	契約面積 (ha)
除伐	平瀬	13.40	-	0.07	13.33
計	11お外				

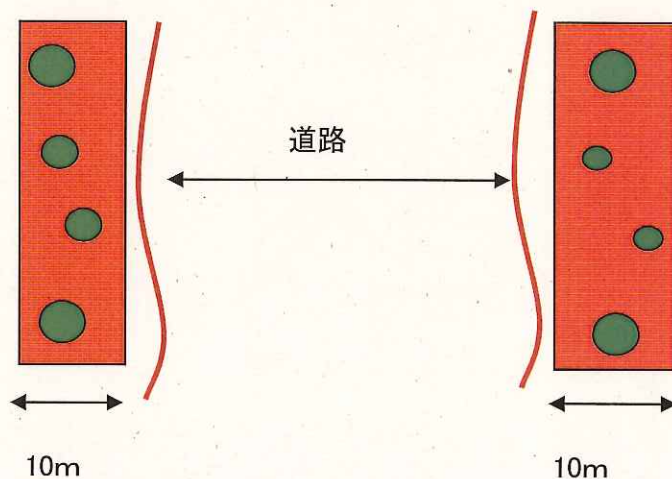




平成28年度  
外来種(アブラギリ)駆除対策事業

定規図

平面図



正面図

